

特250

141

昭和十七年度茶生産對策

静岡縣茶業組合聯合會議所



始



昨年度は石炭、石油等茶葉用諸資材は不足懸とは云ひながら、幸生産に大なる支障を及ぼさなかつたが、本年度は是等の配給はかなり減少し、努力も段々不足になつて行きますから、今迄通りの仕方では到底この事態を乗り切る事が出来ません。茶業者全部が左記に留意され真剣になつて實行して下さい。



若芽摘の實施、晩芽の摘採抑制



1. 肥料は少しいし、製造に使ふ石炭、石油、薪の配給もほんとに少いから。
2. 内地移出は盛んですが、第三國輸出の見込殆んど立たず、従て販賣數量は昨年より減少するでせうから。
3. 内地の需要は諸種の關係から上物需要の傾向であるから。
4. 茶樹を愛護し、樹勢を保ち將來に備へねばならぬから。

一、臺刈、深刈、中刈の實施

1. 臺刈をして茶園の更新を圖り、將來に備へると同時に、麥、蕎麥、豆類等を間作して食料増産

- に協力して下さい。
2. 茶樹の背丈が餘り高いと施肥上にも不經濟であり、作業もやりにくいから深刈、中刈を実施して下さい。

### 三、其他の肥料對策

1. 堆肥、厩肥、綠肥、人糞尿等の自給肥料を努めて施して下さい。
2. 除草を屢々行ふことも勿論必要ですが、雜草を抑へる爲と寒旱害を防ぐ爲に山草、葉等を敷込んで下さい。
3. 努めて耕作をなし、土を膨軟にし、空氣の流通をよくして、肥料の分解を良くして下さい。
4. 客土、燒土もなるべく實施して下さい。

### 四、共同摘採、共同製造

部落内の茶園は適當な時に摘むように申合せをしてやりませう。

部落内或は隣組内共同で摘採して之を共同で製造することが良いと思ふ。小規模で個々に製造してゐる場合と共同製造する場合を比較すると次の利益を挙げ得ます。

1. 動力、機械が半分乃至三分の二で済む。

2. これと略々平行して勞力、資材の節約が出来る。
  3. お互の長所が發揮されて良い茶が出来る。
  4. お國の爲に人が抜けることがあつても、共同の力で補ふことが出来る。
- ▲ 摘採に人を備ふ場合にも農會なり實行組合の斡旋で共同で備入れることが良い。

### 五、生葉の供給と製造との可及的小地域結合

1. 生葉を遠方に運ぶことは品質を損じ、ガンリン等を浪費し、それに輸送力も不圓滑ですから村の生葉は村で採む者になつて下さい。
2. 生葉を賣る場合には共同出荷とし、買方と協定して格付て賣買する様にして下さい。
3. かくして製造者と生葉供給者と融合歸一し所謂共榮圈を築く様にすることが望ましい。
4. 以上の事を實行するには部落茶業實行組合には部落内の全茶業者を入れて互に協調する事が必要です。

### 六、設備改善及燃燒法改善による燃料節約

#### 1. 設備改善

##### ▲ 工場内

- 出来るだけ明るく換気をよくすること。
  - 機械の配置を合理的にすること。
  - 蒸釜に近く蒸機を、蒸機に近く粗揉機を、次に揉捻、再乾、精揉、乾燥機の順序に配列し、仕事に手戻りなくし、能率をあげること。
  - シャフト(軸)は必ず水平に据へ、滑かに動くやうに點檢しらべて置くこと。
  - 皮車のつり合をよくし、調帶ていどうが外へはすれぬやう弛まぬやう注意すること。
  - 火災防止につき豫め用意すること。
- ▲ 機械器具
- 製茶期前各機具の要部を調べ、故障箇所は直ぐ修繕し置くこと。
  - 點火より沸騰迄に時間を要する竈は、火廻り不良の證據であるから他に比較して時間を要するものは築き換へること。
  - 成るべく共通煙筒に改め働きよくすること。
  - 不良の火爐は一日も早く更新すること。

## 2. 統制熱風火爐のこと

今度縣内の六十有餘種の火爐を蒐めて鋭意研究の結果、茶聯型統制火爐(一號——五號)を定め關係各方面の協力を得てこれにより鑄造し使用を推奨することになつたが、統制火爐は從來使用の優

良なるもの比べ第一割位熱効率が良く、耐久力も構造上相當考究してあるから一日も早く使用するべきです。

## 3. 熱風火爐の經濟的な焚き方

- 石炭の大きさは中塊炭程度のものが良く、大塊のものは中塊位に割つて用ひて下さい。
- 石炭の投入には成るべく小さい「シャベル」を用ひ、一時に澤山の投炭をせぬやうにし、平に續けるやうに心掛けること。
- 投炭を左右交互焚にすれば燃焼具合がよく、火力の平均を保ち經濟である。
- 火床上の炭層はいつも偏隙なく平均した厚さで燃焼するやうにすること。
- 火床に灰が溜ると空氣の流通が悪くなるから、時々火格子の下から軽く槍を入れ灰を落すこと。
- 煙筒排氣口(特に共通煙筒の場合)には必ずダンプダンプを設備し、之を開閉して燃焼の調節をする必要がある。

## 4. 据付上の注意

- 薪の如く燃焼に火足の長いものは火床を下げる(二寸程度)と非常に燃焼が良い。
- 火爐と礎との間隙の狭いときは熱の流通が悪くなるから、周圍は少くとも一寸五分位を必要と

する。

- 機械の吸熱口と火爐覆の吹込口はよく接合せしめ冷空氣の進入せぬやうにすること。
- 覆の吸氣孔は上下に設けるのが熱の傳導が良い。
- 火爐煙筒の高さは排煙管（曲りの外徑）三十倍程度を標準とし直立せしむること。
- 成るべく共通煙筒とすること。

#### 5. 其他の注意

- 機械の旋風器の吸引の強弱は、熱の吸入にも排濕上にも重大な關係を持つから、旋風器の調節は常に弛まぬやうに注意すること。
- 機械の排氣網に茶滓が附着すると排濕を妨げ、熱の吸引が悪くなるから常に網の掃除を怠らぬこと。

○ 石炭及薪等の燃料を雨晒し日晒しにせぬこと。

#### 6. 蒸釜（蒸汽釜）の焚き方注意

- 煙筒（若くは煙道）には必ずダンパーを設け、之を開閉して燃焼を加減すること。
- 蒸釜の火管は毎日一回必ず掃除すること。
- 蒸葉作業の休止間は必ずダンパーを以て排煙を停止せしめ、火力を放散せしめないこと。
- 煉瓦積の龜裂及口金等より冷空氣の侵入せざるやう注意すること。

- 蒸汽パイプは必ず保温すること。
- 蒸汽を徒に放散せしめざることを。

### 七、薪炭及代用燃料の確保

1. 民有林伐採取締規則（一月六日付 静岡縣令一號）に従ひ、薪を造ること、薪の配給統制要綱も昨年十二月二十六日付縣告示一五四〇號で告示されましたからこれにも御注意下さい。
2. 炭の自家製造は縣でも奨励してゐる處ですから、伐採取締規則に従ひ出來得る限り實施して下さい。
3. 鋸屑等の燃料は出來得る限り確保して下さい。

### 八、石油対策

石油は相當大きな配給規整になりませうから次の様に御考へ下さう。

1. 電動工場が近くにありましたら、その工場の能率を最大に働かせて、その工場で製造するやうにして下さい。この場合共同經營に出來れば尙良い。
2. 水車動力を出來得る限り共同で利用して下さい。
3. 一部手揉へ復歸も己むを得ないことになりませう。

4. 木炭瓦斯發生器は、今の處何箇入手出来るかわかりませんが、入手の場合にも數が限られてゐますから、共同製造でなければならぬ。
5. 假令石油の配給があつても、極く限られた量でせうから、最も能率をあげ得るやうに運営せねばならぬ。

### 九、業者の心構へ

尙以上の方法を皆さんが眞剣になつてやつて頂いても、未だ足らず處理に困る場合は非常の方法も講じてはならないことになります。

(代 贈 寫)

昭和十一年四月廿日發行

編輯兼 發行所 静岡市大宮町一三三三  
 發行人 田中敬三  
 印刷所 静岡市長服町二丁目三四番地  
 野崎重兵衛  
 (池澤堂印刷所)  
 發行所 静岡市北番町  
 静岡縣茶業組合聯合會事務所

413  
513

終

